

水と光のまちづくり推進会議 2024年度ご報告資料

光のまちづくり推進委員会



大阪光のまちづくり2030構想

1

これまで、2004年に策定した光のグランドデザイン、2020構想～2030構想に基づき、水と光の首都大阪のブランドの拡大・永続化に向けて取組を進めてきた。

水と光の首都大阪のブランドを大阪関西に浸透し拡大～国内外へ発信

【第1篇 光のグランドデザイン】

2020構想

ブランドの確立

永続化

2030構想

「浸透・発信」(取組みの発展・拡大)

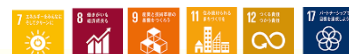
◆ 水と光の首都大阪のブランド確立と、永続化に向けて、更なる社会環境の変化を踏まえた仕組みの構築

大阪光のまちづくり2030構想 ブラッシュアップの背景

- <社会情勢の変化>
- ▶ 新型コロナウイルス感染症の影響によりオンライン化が進展
 - ▶ 新しい公共の概念や官民パートナーシップ(PPP)の進展
 - ▶ 情報発信の双方向性の進展
 - ▶ その他の社会環境の変化(経済・環境・都市)
- <技術の進展等>
- ▶ LED化の進展
 - ▶ スマートエネルギーネットワークの進展
 - ▶ ITからデジタル変革(DX)の加速化
 - ▶ 光の新たな役割や機能

SDGsに貢献する光のまちづくり

・光のまちづくりにおいては持続可能な社会を実現するため、グローバル目標であるSDGsの取組みへの貢献が必要。
・夜間景観に繋がるテーマを以下のとおり厳選し、2030年だけでなく2025年にも目標を据え今後の光のまちづくりに反映。



- 7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 8. 働きがいも経済成長も
- 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 11. 住み続けられるまちづくりを
- 12. つくる責任 つかう責任
- 17. パートナーシップで目標を達成しよう

関連計画との連携

水都大阪ビジョン

第3フェーズ

- 水の回廊の更なる活性化【深み・厚み】
- バイエリアや淀川舟運との連携【広がり】
- 人々が集う水辺ライフスタイルの定着【つながり】

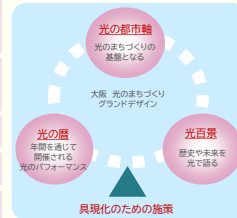
大阪光のまちづくり『5つのコンセプト』

- 『大阪らしさを活かした光』
～水を感じる光～
- 『テーマ性のある光』
- 『絵巻書になる光』
- 『やすらぎの光』
- 『もてなしの光』

『5つのコンセプト』の見直し

- ①水辺の光景観を永続的な風景とし、「水都大阪」を際立たせる光の創出
- ②話題性ある光空間の形成、回遊性と物語性ある光を創出
- ③快適な光環境を推進、美しい夜景の創出
- ④経済的・環境に配慮した安全・安心な夜間空間
- ⑤都市として人々をもてなす配慮ある光の復活

3つのファクター(光のネックレス構想)の再定義



- 【光の都市軸・再定義】
- 光の東西軸 ●光の回廊 ●光の南北軸 ●光の庭
- 【光の歴史・再定義】
- 施設管理者や民間開発者に対する「光のまちづくり」の理解促進を図るための情報発信の強化
 - 国内外への情報発信(プロモーション)の継続、拡大
 - 情報集約機能の充実
- 【光の未来・再定義】
- 四季の特徴を活かした個性あるイベントを継続的に展開
 - 公共空間を活かした大阪の魅力発信となる事例を増やす

【第2篇 光のまちづくり参考技術指針】

1. 快適な光のまちの実現に向けて

- (1) 光景観を際立たせる7つの光の品質

2. 大阪らしい光のまちに向けて

- (1) 水辺の光
- (2) 緑を活かす光
- (3) 近代建築を際立たせる光
- (4) 街路の光
- (5) おもてなしの光

3. 環境に優しい光について

- (1) 環境に優しい光への取り組みの意義
- (2) 環境に優しい光への取り組みの方策
- (3) 光源の選定
- (4) 灯具の選定
- (5) 照明の制御
- (6) 照明手法
- (7) 光害防止に向けた取り組みについて

【第3篇 アクションプラン】

(1) 海と川を包含する「水と光の東西軸」の創出

- ① 中之島夜間景観の質の向上と永続化
- ② 中之島の新たな夜間景観の展開
- ③ 海と川を繋ぐ取組み

(2) 大阪都心での官民共創による夜間景観形成

- ① エリアの個性を際立たせる夜間景観創出
- ② 行政計画等との連携を図る
- ③ 大阪・光の饗宴等、四季の特徴を活かした個性あるイベントを継続的に展開

(3) 情報発信と情報共有のためのプラットフォームづくり

- ① 情報の一元化のためのウェブサイトの活用
- ② 関西・光ネットワーク会議による広域ネットワークの強化
- ③ 国内外に向けた観光振興・地域振興

第1フェーズ～第2フェーズへ 具現化のための取組み

◎光景観のクオリティ向上に向けた取組み

◎光のまちづくり 官民共創の仕組みの検討

■第2フェーズ（2024年～2025年）・第3フェーズ に向けて

戦術である「3つのファクター(光の都市軸・光の暦・光百景)」を中心に、大阪・関西万博という大阪が世界から耳目を集める機会に向け、準備を進めてきた。

【2025大阪・関西万博に向けた重点的な取組・全体構成案】

光の都市軸

- ①中之島夜間景観の質の向上と永続化
- ②海と川を繋ぐ取組み
- ③大阪都心各エリアの個性を際立たせる夜間景観創出

光の暦

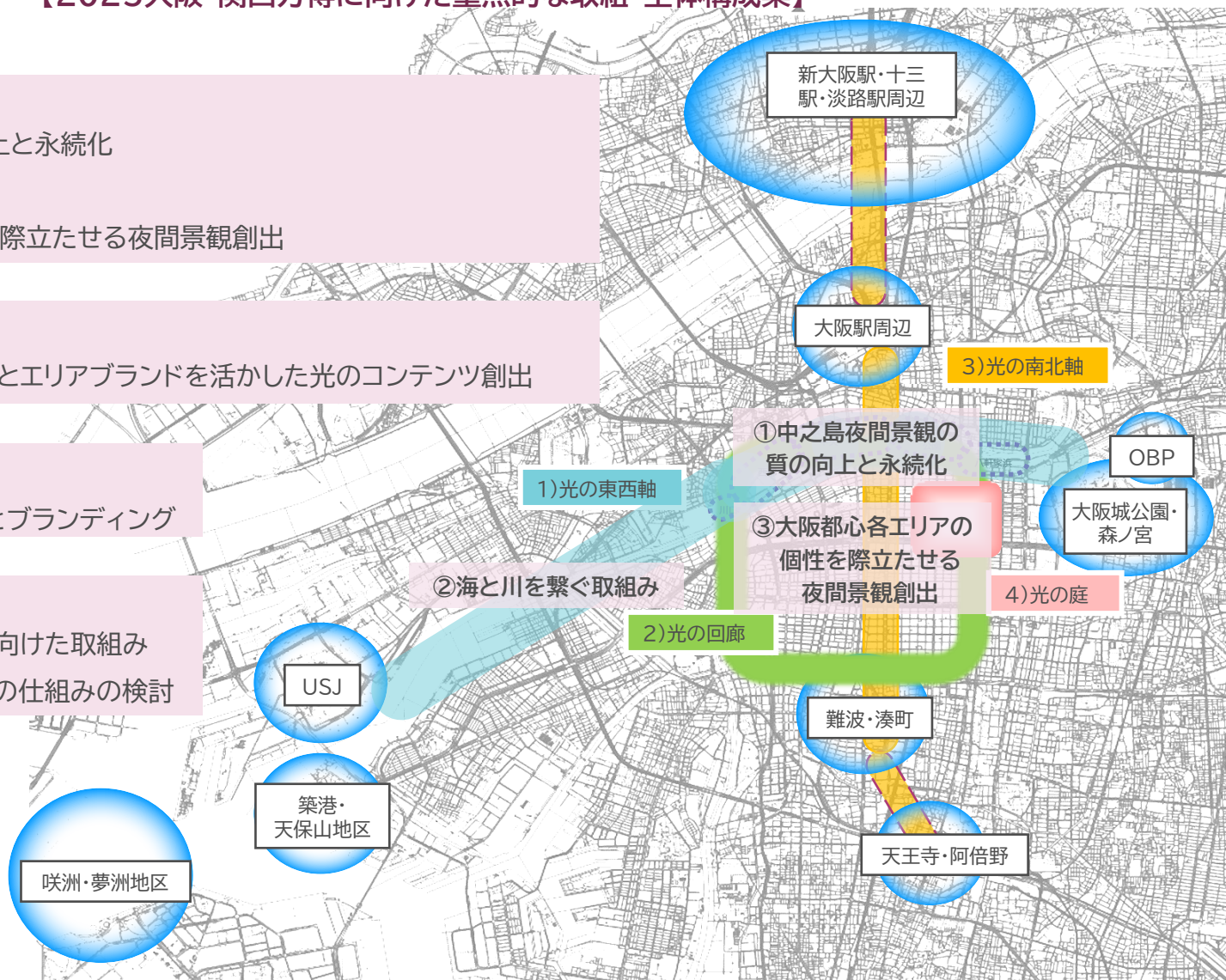
- ④各エリアで取り組む季節感とエリアブランドを活かした光のコンテンツ創出

光百景

- ⑤国内外に向けた情報発信とブランディング

具現化のための取組

- ⑥光景観のクオリティ向上に向けた取組み
- ⑦光のまちづくり 官民共創の仕組みの検討



■光の暦:「光のまちづくり Awareness Color Light Up Calendar」の制定

光のまち大阪として、街中において季節感や様々な活動を光で感じられるよう、アウェアネスカラーライトアップカレンダーを制定。
世界中どこでも活用可能な「World Awareness Color Light Up Calendar」と日本の四季折々のイベントや大阪の祭りをまとめた「大阪版ライトアップカレンダー」を制定。

カレンダー演出案の一覧

①World Awareness Color Light up Calendar

日	タイトル	内容	色
1/20	Yellow Ribbon Day	イエローリボン運動 (障害者共生啓発)	黄
3/8	International Women's Day	世界女性の日★	黄
3/22	World Water Day	世界水の日	青
4/2	World Autism Awareness Day	世界自閉症啓発の日	青
5/8	World Red Cross Day	世界赤十字の日	赤
5/31	World No-Tobacco Day	世界禁煙デー	黄 緑
6/5	World Enviroment Day	世界環境の日	緑
9/9	Global Gold September Campaign	世界小児がん 啓発キャンペーン★	黄or 金
9/21	World Peace Day	世界平和の日	白
10/1	Pink Ribbon Day	ピンクリボンデー (乳がん啓発)	ピンク
10/10	World Mental Health Day (Silver Ribbon)	世界メンタルヘルスデー	銀 緑
10/16	Green Ribbon Day	グリーンリボンデー (臓器移植啓発)	緑
11/1	Orange Ribbon Day	オレンジリボンデー (子供虐待防止)	橙
11/12	Purple Ribbon Day	パープリーボンデー (女性に対する暴力根絶)	紫
11/14	World Diabates Day	世界糖尿病デー	青
12/1	World AIDS Day (Red Ribbon)	世界エイズデー	赤

②大阪版ライトアップカレンダー

日	タイトル	イメージ	色
1/1	元旦	日の丸	紅 白
1/9～11	大阪今宮戎十日戎	商売繁盛 福笹	黄金色 緑
2/2	節分	赤鬼青鬼	赤 青
2/14	バレンタインデー	ハート	赤
3/3	ひなまつり	3色団子	桃 白 緑
4/1	大阪市政 施行記念日	イチョウと水	黄色 青
5/5	こどもの日	こいのぼり	青 赤 黒
6/30 ～7/2	愛染まつり	愛染明王	濃いオレンジ
7/7	七夕	短冊や笹	青 赤 黄 白 紫 黄緑
7/24・25	天神祭	天神祭り	朱色
7/30・8/1	住吉祭	住吉大社	朱色
10/31	ハロウィン	ジャック オランタン	紫 橙
会期中 の土日	大阪・光の饗宴	イルミネーション	赤 橙 黄 緑 青 藍 紫
12/25	クリスマス	クリスマスツリー サンタ	赤 緑

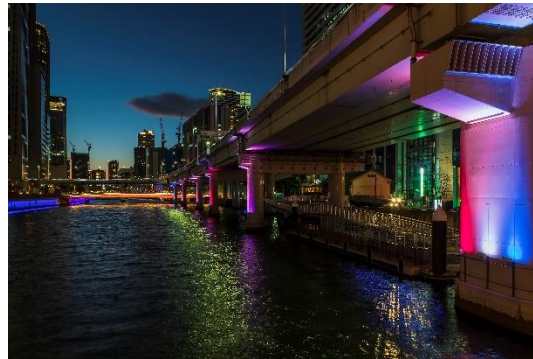
★過去委員会へ依頼のあったもの

※複数色が設定されている場合は、いずれか1色の点灯でも可

■万博機運醸成・会期中の取り組み

大阪・関西万博開幕100日前に機運醸成のため、博覧会協会の後援も得た上で青と赤のライトアップを各施設へ呼びかけた。
また、会期中には万博のお祭りムードに沸く水と光のまち大阪を記憶に残すよう、「EXPO2025 OSAKAライトアップ(仮称)」や「大阪・関西万博記念 水と光のまちづくりフォトコンテスト(仮)」を開催予定。

【万博100日前機運醸成ライトアップ】



万博開幕100日前の節目に関係諸団体を
中心に万博をイメージした青赤のライトアッ
プを呼びかけ、年末年始の大阪の街は青赤
に染まった。

期間:万博開幕100日前の前後1週間
(2024/12/27～2025/1/10)

主催:光のまちづくり推進委員会

後援:(公社)2025年日本国際博覧会協会

【会期中:EXPO2025 OSAKAライトアップ(仮称)、大阪・関西万博記念 水と光のまちづくりフォトコンテスト(仮)】

万博の開幕時・期間中・閉幕時に調光可能な
ライトアップ主体に、青と赤のライトアップを
働きかける。

また、会期中、市民・来訪者問わず「水と光の
まちづくり」に参加してもらうためにフォトコ
ンテストを実施予定。
メディアやインフルエンサーとのタイアップ
など、プロモーション施策も検討する。

主催:光のまちづくり推進委員会



※写真はイメージ、過去のフォトコンテスト入賞作品等

■2025年度(第2フェーズ2か年目)の取り組み

大阪・関西万博という「水と光のまち大阪」を世界へプロモーションする絶好の機会を活かすために、博覧会協会等他団体とも連携を進める。

また、万博以降の東西軸の活性化についても議論を進める。

2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年
大阪光のまちづくり2030構想								
第1フェーズ 2021年～2023年			第2フェーズ 2024年～2025年		第3フェーズ 2026年～2028年			2040に向けて 2029年

		2025年									2026年		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
大阪光のまちづくり 2030構想		PDCAサイクルに基づき随時ブラッシュアップ											
		大阪関西万博会期中における水と光の首都大阪プロモーション活動											
		第3フェーズ（Beyond Expo）の取組検討											
第2フェーズ～ 第3フェーズへ	① 中之島夜間景観の 質の向上と永続化	官民の光景観の調和と協調を推進 護岸・橋梁の更新時における光景観形成の考え方整理											
	② 海と川を繋ぐ 取組み	ベイエリアから中之島（川口）への光景観の創出のための調整											
	③ 大阪都心各エリアの 個性を際立たせる夜間 景観創出	各エリア団体や企業・行政と光景観とりまとめに向けた意見交換の継続実施・夜間景観形成活動への参加促進											
	④ 各エリアで取り組む 季節感とエリアブラン ドを活かした光のコン テンツ創出	万博期間における万博カラーライトアップ促進											
		大阪光の饗宴特別点灯実施											
	⑤ 国内外に向けた情報 発信とブランディング	大阪光の饗宴											
		アウェアネスライトアップカレンダーのプロモーション											
		都市空間を活用した光景観・光イベントのプロモーション											
		光景観やコンテンツ情報の一元化と継続的な情報発信											
	⑥ 光景観のクオリティ 向上に向けた取組み	関西・光ネットワーク交流会議開催											
フォトコンテスト開催													
⑦ 光のまちづくり官民 共創の仕組みの検討	大阪市景観計画・景観読本（夜間景観ガイドライン）に基づく夜間景観向上												
	民間参加の仕組みとなる官民共創による仕組みの検討												
	水と光の連携の在り方検討												

■Beyond EXPO・第3フェーズでの取組

大阪・関西万博終了後も大阪IRの実施の確度が高まるなど、新大阪やうめきたに代表される南北軸だけでなく、東西軸でも大規模な開発が進む

大阪府市が検討中のBeyond EXPOにおける都市ビジョンに向け、世界的にも稀有な官民共創のまちづくりプラットフォームを受け継いでいく



※画像はイメージ

**Beyond EXPOにおいても
世界的にも稀有な官民共創のまちづくりプラットフォームを継続していく**